

市政ニュース News

3地区の安全・安心に

大胡・宮城・粕川地区の消防活動拠点として、馬場町に東消防署宮城分署が落成。3月29日に式典が開かれました。消防車や救急車など4台が配車され、4月1日からは12人の職員が2班交代で勤務。より地域に密着した消防活動に取り組んでいます。



体操で介護予防を

3月28日、総合福祉会館で「ピンシャーン！元気体操」が行われました。これは元気なうちから運動習慣を目標とした、いつでもどこでもできる介護予防のための体操。参加者はストレッチや足踏みなど音楽に合わせて楽しく運動しました。

16チームが熱い戦い

前橋市長杯全国社会人選抜9人制バレーボール女子フレッッシュリーグが4月7日・8日、関根町の県総合スポーツセンターで開催。国内トップレベルの16チームが熱戦を展開しました。



広報リニューアル

広報「まえばし」は今号からリニューアルしました。より皆さんに親しまれ、読みやすくなるよう、すべてのページをカラー印刷し、本文を縦5段から4段に。本市の情報を分かりやすくお伝えします。



自分の経験を伝えたい



水球部監督として3冠達成
本宮 万記弘さん・38歳
六供町

前商高の水球部監督として、昨年8月の高校総体、10月の国体に続き、先月行われた第29回JOCジュニアオリンピックカップ春季水球大会の高校生の部でも優勝に導き、3冠を達成した。

「鹿児島南高との決勝戦では、先制したもののすぐに逆転を許し、苦しい展開でした。でも、選手たちは冷静に試合運びを再逆転。最終的には11対5で勝つことができました。これも、選手たちが日々の厳しい練習に耐え、乗り越えた結果です」

小学1年生からスイミングスクールに通い、5年生のとき水球に出会った。その後、前商高、日体大と水球に打ち込み、在学中にナショナルチームのメンバーに。卒業後はプロとしてスペインへ渡り、30歳まで現

役を続けた。

「長く海外で生活していたら故郷が恋しくなりました。また、自分が得た経験のすべてを、子どもたちに伝えたいと思い、群馬で教員になったのですが、いきなり母校に配属。とてもうれしいですね」

強豪校の監督は常に勝つことを求められる。その重圧は、他人には計り知れない。暇さえあれば、作戦や戦術を考える毎日だ。

「自分の時間はほとんどありません。でも、目標に向かって一生懸命練習に打ち込む選手たちと過ごす時間はとても有意義。疲れたなんて言うていられません」

口調には自信がみなぎり、熱いハートを感じた。もちろん目標は、2年連続の3冠だ。

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

若い芽のポエム

美穂賞（金賞）

風船

宮城小6年
前原 みづきさん

私が風船をもっていた時、
風船が、
「ぼん」
と音をたて、われてしまった。
なんだか一瞬
地球が
静かになった気がした。

銀賞

おなかのなかのあかちゃん

東小1年
南 マリアさん

おかあさんのおなかを
さわったら、
うごいてたよ。
ほいくえんからかえって
びょういんにいったよ。
かおをさわったら、
つめたかったよ。
おはなをあげたら、
おなかをさわったら、
うごいてるみたいだったよ。
なまえは、かれんちゃん。
おそうしきをしたよ。
たまに、ゆめをみるよ。
あさ、おきて、まいにち
「かれんちゃん、おはよう。」
ってゆってるよ。
わたしのいもうとだよ。